

【今号のトピックス】

以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【第 1 四半期広東省クロスボーダー人民元決済額、前年同期比 12%増】](#)

[【大湾区のステージ演出設備、世界市場の 7 割超 広東製造業とエンタメ消費の自然な融合】](#)

[【東莞―香港で大湾区初の完全かつ持続可能な航空燃料産業チェーンを共同構築】](#)

【第 1 四半期広東省クロスボーダー人民元決済額、前年同期比 12%増】



2026 第 1 四半期、広東省におけるクロスボーダー人民元決済額は前年同期比 12%増加し、人民元及び外貨の収支総額に占める割合は 55%を超えました。このうち、広東省企業による対外投資および外資企業の広東省への投資資金決済における人民元の使用割合はいずれも 70%以上に達しており、これは、ますます多くの企業がクロスボーダー投資・融資において人民元を優先的に選択していることを示しています。

広東省人民政府報道事務局が 4 月 23 日開催した記者会見にて、中国人民銀行広東省支店の外貨総合所所長、伍輝氏が上記の状況を紹介しました。伍氏によると、今年第 1 四半期において、同行は外貨管理サービスの改革とクロスボー

ダー人民元利用促進という二つの面を重点的に強化し、企業の「海外進出」と「外資誘致」をサポートしてきたとのことです。

外貨管理サービス改革は「スポット」的な取り組みと「体系的」な改革の両方が進められています。そのうち、2つの大きな突破口があり、そのうち1つは「科匯通」業務の正式実施です。これにより、広東省の研究機関が海外の研究資金を受け入れるルートが確保され、条件を満たす研究機関は銀行で「ワンストップ」で外国為替業務を直接処理できるようになり、研究資金のクロスボーダ一流動が円滑になりました。もう1つは「南沙金融 30 条」に基づき、初の米ドル建てフォーフェイティング資産のクロスボーダー譲渡業務を成功裏に実施されたことです。簡単に言えば、中国本土のクレジット資産を海外の金融機関に譲渡するもので、中国本土銀行の既存資産を有効活用するとともに、海外資金が大湾区の建設により直接参画できるようにするものです。

「体系的」改革の核心は「信用度が高ければ高いほど利便性が高まる」という外国為替政策体系の整備にあります。報道によると、中国人民銀行広東省支店は、クロスボーダー貿易の高水準開放パイロット事業の拡大と質の向上を継続的に推進しています。2026 年第 1 四半期には、広東省（深圳を除く）で新たにパイロット企業が 1,505 社追加され、前年同期比で大幅に増加しました。また、銀行の外国為替業務改革をさらに深め、銀行が業務展開に基づく分類結果と、自国通貨と外貨の各種円滑化政策を組み合わせることを促進しています。第 1 四半期末現在、広東省（深圳を除く）における、信用度が最も高い「カテゴリー1」の顧客は約 6,000 社に達し、これらの企業は取引指示に基づき、約 28 万件、総額 645 億米ドルのクロスボーダー収支を処理しました。

第 139 回広州交易会が広州で開催中で、海外バイヤーが多数集まっています。海外から中国を訪れる人々の決済サービスを最適化することは、現在の国際的なビジネス環境を向上させる重要な要素の一つです。中国人民銀行広東省支店の副支店長である張双長氏は、同行が「飲食・宿泊・交通・観光・ショッピング・エンタメ」という 6 大主要シーンを中心に、海外発行のクレジットカード決済、モバイル決済、現金決済、外貨両替の利便性向上を全面的に推進しています。例えば、交通面では、広州地下鉄において海外発行のクレジットカ

ードによる「タッチ改札」をサポートするよう推進し、ビザカードやマスターカードなどの海外カードがあれば改札機に「タッチするだけで通過」でき、切符を購入するために列に並ぶ必要はありません。第 1 四半期末までに、海外カードによる「タッチ決済」での改札は 23 万件を超えています」と述べました。

同時に、同支店は訪中客消費に適した商業エリアでの決済サービス環境の整備を重点的に進め、海外からの渡航者向けの特別な消費促進キャンペーンも実施しています。例えば、広東銀聯に対し「広州交易会に来て、広州の街を巡ろう」という消費促進のスタンプラリーキャンペーンの実施を主導し、市内の 2,600 店舗以上が参加しています。第 1 四半期には、広州を訪れる外国籍の人々による海外クレジットカードやモバイル決済を利用した消費の取引件数と金額は、前年同期比でそれぞれ 85%増、69%増となり、決済の利便性が消費の活性化へと確実に結びついています。

【大湾区のステージ演出設備、世界市場の 7 割超 広東製造業とエンタメ消費の自然な融合】



2026 年 4 月 25 日夜、広州の越秀山スタジアムで、2026 年広東省サッカースーパーリーグの開幕戦が行われました。この省レベルのリーグ戦の背景には、

広東省製造業による協業体制があります。ディスプレイパネルから計時チップ、オーディオアンプからスマートウェアに至るまで、産業チェーンの各企業が連携し、試合の中で実際に機能しました。

現在、広東省では「両業協同」（製造業と生産性サービス業の連携）が、産業モデル転換の重要な方向性となっています。長年にわたり GRP（地域総生産）で全国トップを維持してきている広東省にとって、製造業は基盤であり、サービス業は成長の原動力であり、両者の境界線は、ますます多くの場面で曖昧になってきています。文化、観光分野では、スポーツイベントにはハードウェアの支援が必要不可欠であり、エンタメ公演、興行には設備、機材に依存しています。また、工業跡地の有効活用は、製造と消費の直接的な関わりを示しています。

広東スーパーリーグ会場：電子情報産業の集大成

広東スーパーリーグの開幕戦は、広東省の電子情報製造業の集大成の場となりました。ピッチサイドに設置の大型 LED スコアボードや円形広告ディスプレイのコアパネルは、TCL 華星や京東方の広東工場で製造されたものです。4K 対応エンコード・デコード機器のソリューションは、華為海思（ファーウェイ・ハイシリコン）や広州視源（CVTE）が提供したものです。計時チップは広州粵芯半導体（CanSemi）が提供し、会場の音響アンプモジュールは仏山で生産され、選手が着用するスマートモニタリングベストは深圳のハイテク企業による製品です。

ひとつの省レベルのサッカーリーグ戦により、チップからパネル、そして完成品端末に至るまで、完全な産業チェーンがつなぎ合わされました。広東省のハイパーハイビジョン映像産業規模は全国の 40%以上を占めており、このうちスポーツイベント向け専門ディスプレイ機器は、この 3 年間で年平均 25%以上の成長を遂げています。TCL 華星や京東方などの企業は、大型 LCD や Mini LED 分野でグローバル市場の主要シェアを誇っています。視源股份や康冠科技などは、スポーツ会場向けのカスタマイズされたディスプレイ端末を提供しています。さらに、万力タイヤ、広汽領程といった広東省の製造企業も、大会の冠ス

ポンサーや公式車両提供などを通じて、文化・観光消費市場に直接関わっています。

エンタメ設備：世界市場を支える重要な基盤

2026 年の第 1 四半期、広東省のエンタメ設備輸出は 20% から 35% の成長を達成しました。その主力となっているのは、プロ向けの照明機器、音響機器、および制御システムです。大湾区のエンタメ設備の産業規模は全国の約 9 割を占め、世界市場シェアは 70% を超えています。中山、広州、深圳の 3 都市は、世界最大のエンタメ照明産業クラスターを形成しています。光源のパッケージングからスマート制御システムに至るまで、ほとんどの工程は 50 キロ圏内で調達・連携が可能であり、設計から納品までを効率的に実現しています。

中山熠日照明（EK Lighting）は、2025 年に開催された第 15 回全国運動会の開会式において、1,000 台近くの照明機器を提供しました。また、同社はイタリアのブランドである Claypaky 社の買収を完了し、製品の輸出からグローバル運営への飛躍を遂げています。さらに、広州励豊文化などの企業は「製造」と「コンテンツ」の橋渡し役を担っています。これらの企業は、「黃埔！黃埔！」（大型の光と影による没入型演劇）などの舞台作品において、自社開発の音響・照明・映像技術と地域文化を融合させ、再現可能な没入型演芸ソリューションを構築しています。そして、スポーツ大会の開閉会式、音楽フェスティバル、観光地のナイトツアーなどの多様なシーンを支えています。

工業跡地：複合型文化観光空間のプラットフォーム

過去 5 年間で、広東省では 60 箇所以上の工業跡地が文化・観光施設への改修を完了、または改修進行中です。これにより、関連投資は 200 億人民元を超え、「日中の産業観光＋夜間の消費」を組み合わせた複合型空間が数多く形成されています。広州市の旧工場や旧埠頭、仏山市のディーゼルエンジン工場、深セン市の旧工業団地、珠海市の染色工場などが、都市型消費のランドマークへと生まれ変わりつつあります。

広州の「琶醍（パーティー）」は、珠江ビール工場の蒸気タービン棟と麦芽サイロを改装したものです。空間の要素として蒸気タービン発電機や粉砕機などの重機を残し、使われなくなった麦芽サイロはセレクトショップやクラフトビール体験スペースに生まれ変わり、川沿いの文化・観光消費エリアを形成しています。1904年に建設された太古倉埠頭は、10年以上にわたる改修を経て、T字型埠頭や英国式倉庫群が修復されました。そこには映画館、ライブハウス、デザイナーズホテルなどの商業施設が導入されています。2024年の来訪者数は1,000万人を突破し、夜間消費の割合は8割を超えました。

広東省においては、製造業が施設とツールを提供し、サービス業がコンテンツと運営を担っています。両者が連携することで文化・観光消費や夜間経済の発展を支え、産業転換の具体的な成果が、生産と生活の融合の中で実現されています。

【東莞—香港で大湾区初の完全かつ持続可能な航空燃料産業チェーンを共同構築】



2026年5月5日、東莞市人民政府と、香港発のサステナブル燃料メーカーである怡斯萊（EcoCeres）との間で、投資意向に関するMOUが締結されました。

これにより大湾区初となる完全なサステナブル航空燃料（Sustainable Aviation Fuel、以下「SAF」と略す）の産業チェーンが構築されることになりました。

調印式には、香港特別行政区の李家超行政長官、東莞市委員会の韋皓書記、中央港澳事務弁公室第三局の王捷副局長、および広東省委員会港澳事務弁公室の責任者が出席しました。

李家超行政長官は、「SAF 産業チェーンの発展を推進することは、香港が国の第15次5カ年計画（2026～2030年）に連携し、国のグリーン発展戦略に応える具体的なアクションです。今回、東莞に立地することになった香港の SAF 生産基地プロジェクトは、香港と東莞の政府が企業と連携して発展を進める上での重要なマイルストーンであります。これは香港特区政府による行政主導を実践した成功例であり、香港と東莞の両地が実効的な政府と効率的なマーケットを組み合わせた模範的な成功プロジェクトであり、両地の優位性を補完し、中国政府のカーボンピークアウト・カーボンニュートラル目標に貢献する模範的な成果でもあります。香港の SAF 生産基地プロジェクトが東莞に拠点を置くことで、香港が持つ研究開発、国際金融、専門サービス面での強みと、東莞の強力な産業化能力が深く結びつき『研究開発は香港、生産は東莞』という発展モデルが実現し『一つのベイエリアの二つの都市、連携による産学融合』が体現されています。」と述べました。

韋皓書記は「東莞と香港の協力関係は長い歴史と強固な基盤を持っており、近年では経済貿易の往来、科学技術イノベーション、産業連携、高等教育、文化交流など多方面で協力を拡大し、確かな成果を上げてきました。特に両地域が協力して築き上げた『東莞・香港国際空港センター』は、大湾区における協力の成功モデルとなっています。SAF プロジェクトは、世界の航空業界における低炭素化への転換の流れを捉え、グリーン環境産業という新たな分野に参入する戦略的取り組みであり、両地域における科学技術イノベーションの深い融合と産業の協調発展の新たなモデルプロジェクトとなることは間違いありません。。東莞市は、最も有利な政策と最も効率的なサービスをもって、プロジェクトの早期立地、早期着工、早期生産、早期成果の実現に全力を尽くしてまいります」と述べました。

怡斯萊 (EcoCeres) は、現在世界第 2 位の SAF メーカーであり、自社開発の一体化技術を有し、かつ大規模生産を実現している唯一の企業です。同社が製造するサステナブル燃料は、**100%** 廃食用油などのバイオマス廃棄物（生物由来の廃棄物）を原料としており、従来の燃料と比較して、ライフサイクル全体で **90%** 以上の温室効果ガス排出削減を達成しています。怡斯萊による東莞での新プロジェクトを通して、年間約 **45** 万トンのバイオジェット燃料（SAF の一種）および水素化植物油（HVO、Hydrotreated Vegetable Oil）の生産が見込まれており、これにより「大湾区でのバイオマス廃棄物の回収—東莞での精製・生産—香港での混合・給油・取引」というエンドツーエンドの産業チェーン連携モデルが形成され、地域の循環型経済の発展に大きな原動力を与えることとなります。

【参考資料】

- ・ [第1四半期広東省クロスボーダー人民元決済額、前年同期比12%増](#)
- ・ [大湾区のステージ演出設備、世界市場の7割超 広東製造業とエンタメ消費の自然な融合](#)
- ・ [東莞—香港で大湾区初の完全かつ持続可能な航空燃料産業チェーンを共同構築](#)

青葉【WeChat 公式】のフォローをご希望の方は、
右記の QR コードから登録をよろしくお願いいたします。

(WeChat アプリにて、QR コードをスキャンしてください。)

[大湾区ニュースレター特集ページへのリンク](#)

また「大湾区情報」だけでなく、中国、香港のニュースや最新制度
情報も WeChat の公式アカウントに掲載しています。



=====

[最新ニュースページ](#)で過去に発行したニュースレター、及び香港・
中国本土最新ニュースをご覧になれます。

ホームページと共に、SNS でも随時情報を発信してまいります
ので、是非ともフォロー、いいね！をお願いいたします。



質問等お問合せ先

青葉監査法人・青葉ビジネスコンサルティング・青葉法律事務所
担当:

香港：新井 茂 <s.arai@aoba.com.hk>

広州：Monica Tian/田 倩 <monica.tian@aoba.com.hk>

北京：Susan Zhao/趙 素艷 <susan.zhao@aoba.com.hk>

=====